

森林整備課

- 新規評価箇所検討一覧表（BBB 評価以上）
…P1
- 新規事業概要
 - ・ 治山事業 …P2
- 公共事業新規評価調書（整備系） …P4

新規評価箇所総括表

様式 2

担当課 森林整備課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所		事業概要	評価			判断	総事業費 (百万円)	公・単	完成 予定 年度	重要施策との関連性 (他事業との関連含む)	新規評価に至った経緯
					市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境						
1	治山	生活関連	山地治山事業	川原地区	小城市	小城市畑田	溪間工 土石流・流木対策工 1 個	A	A	A	I	46	公	R7	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（東部地区）に位置づけられている。	山地災害発生の際のある箇所を早急に整備する必要があるため。
2	治山	生活関連	山地治山事業	赤仁田地区	唐津市	厳木町浦川内	溪間工 治山ダム工 1 個 流路工10m	B	A	A	I	54	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（西部地区）に位置づけられている。	山地災害発生の際のある箇所を早急に整備する必要があるため。
3	治山	生活関連	山地治山事業	尾田地区	唐津市	相知町平山上	溪間工 治山ダム工 1 個	A	A	A	I	59	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（西部地区）に位置づけられている。	山地災害発生の際のある箇所を早急に整備する必要があるため。
4	治山	生活関連	山地治山事業	白岩地区	唐津市	相知町田頭	溪間工 治山ダム嵩上げ（スリット）1個	A	A	A	I	51	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（西部地区）に位置づけられている。	山地災害発生の際のある箇所を早急に整備する必要があるため。
5	治山	生活関連	山地治山事業	上大峠地区	武雄市	北方町志久	溪間工 治山ダム工 1 個	A	A	A	I	65	公	R8	「さがの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（東部地区）に位置づけられている。	山地災害発生の際のある箇所を早急に整備する必要があるため。

治山事業

農林水産部 森林整備課

1

治山事業とは...

事業の目的

- 住宅や道路等の公共施設の上流の森林において、山崩れ・土石流・地すべり等の山地災害を防止するため、治山施設の設置や間伐などの森林整備により、健全で災害に強い森林の維持造成を行う。

○整備前



○整備後（R4武雄市 赤穂山地区）



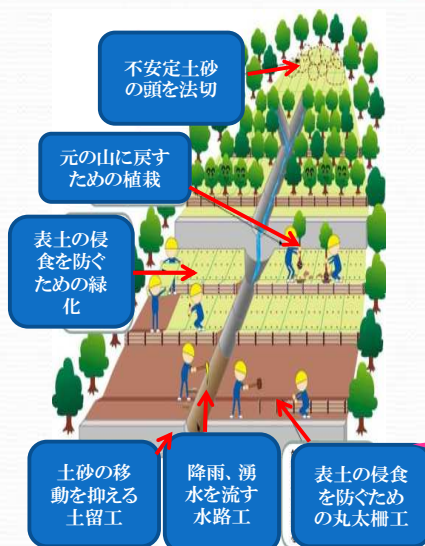
2

治山事業の主な工法

山腹工

【山腹斜面の安定化】

- ・土留工や水路工等の設置
- ・樹木の植栽



溪間工

【荒廃溪流の安定化】

- ・治山ダムや流路工等の設置
- ・樹木の植栽



崩壊土砂の
流失の恐れ

着手前

豪雨等により崩
壊した山腹斜面

法枠工

完成

土留工

植栽工

水路工

土石流発生
の恐れ

着手前

豪雨等により
荒廃した溪流

治山ダム

完成

植栽工

流路工

公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
		責任者	佐賀中部農林事務所	所 長	武藤 正澄

事業 区分	生活関連 治山事業	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	46 百万円 (44百万円)
		山地治山事業	かわはら 川原地区		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
小城市小城町畑田 地内			令和 6 年度(国補正)		令和 7 年度
事業目的			事業内容		
当地区は、溪岸侵食が進行し、溪流内に不安定土砂が堆積している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。			溪間工 土石流・流木対策工 1 個		
評価の視点		評価内容			評価
(1)位置づけ		「新しい佐賀の森林づくりビジョン(2023)」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(東部地区)に位置づけられている。(10) 不安定土石の堆積等があり、経年変化による災害発生の恐れがある。(30) 当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数 10 戸以上(12戸)である。(40)			A (80)
(2)必要性・効果		費用対効果は 11.15 である。(60) 過去に土砂流出の災害履歴がない。(0) 溪流の溪床勾配は10～30%(20%)である。(10) 被害想定区域内に公共施設(県道・市道)がある。(10)			A (80)
(3)実施環境		地元からの要望がある。(60) 小城市も事業に向け積極的である。(40)			A (100)

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材等の搬入にあつては、モノレールを使用することで最小限の樹木のみ伐採し、森林の負荷の低減に努める。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
・特になし

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

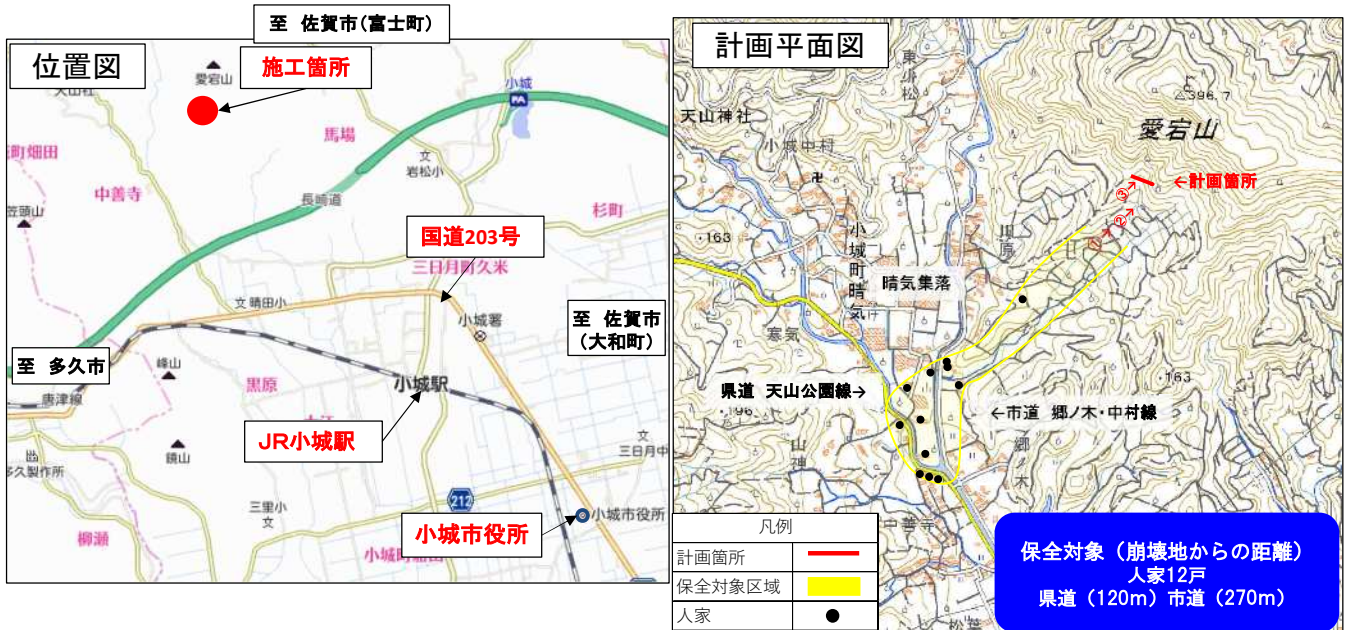
○その他

内 容
現場までの集落内の道路は幅員が狭く、重機の搬入ができないため、通常のコングリート治山ダムではなく、鋼製の防護柵を設置することとしている。 コングリート治山ダムと比べて定期点検や補修等の維持管理費が割増しとなる。

※ 特に記述することがあれば記載。

治山事業 かわはら 川原地区(小城市小城町畑田)

施工箇所:小城市役所から北西に約6km付近



1

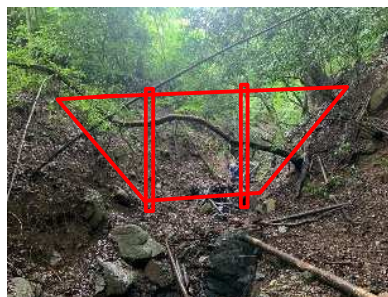
かわはら
川原地区(小城市小城町畑田地内)

整備の必要性: 当地区は、溪流内に不安定土石が堆積している状況であり、**今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れ**がある。このため、溪間工を施工し災害の未然防止を図る。

①流末状況



②対策工計画位置



③不安定土石堆積狀況



【事業概要】 工期:R6~7、 総事業費:46百万円、
保全対象:人家12戸、県道(120m)、市道(270m)
整備内容:溪間工(土石流:流木対策工 1個)

2

公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
		責任者	唐津農林事務所	所 長	片渕 隆昭

事業 区分	生活関連 治山事業	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	54百万円 (51百万円)
		山地治山事業	あかにた 赤仁田地区		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
唐津市 厳木町 浦川内			令和6年度(国補正)		令和8年度
事業目的			事業内容		
当地区は、豪雨等により溪岸侵食が進行し、溪流内に不安定土石が堆積している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。			溪間工 治山ダム工 1 個 流路工 10m		
評価の視点		評価内容			評価
(1)位置づけ		「さかの森林・林業ビジョン 2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（西部地区）に位置づけられている。(10) 不安定土石の堆積等があり、経年変化による災害発生の恐れがある。(30) 当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数 10 戸未満（5戸）(20)			B (60)
(2)必要性・効果		費用対効果は 9.05 である。(60) 過去に土砂流出の災害履歴がない。(0) 溪流の溪床勾配は 10%～30% (23%)である。(10) 被害想定区域内に公共施設(県道・市道)がある。(10)			A (80)
(3)実施環境		地元からの要望がある。(60) 唐津市も事業に向け協力的であり、山地災害危険地区の地域住民への周知を確認できる。(20)			A (80)

評 価	B A A	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあつては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

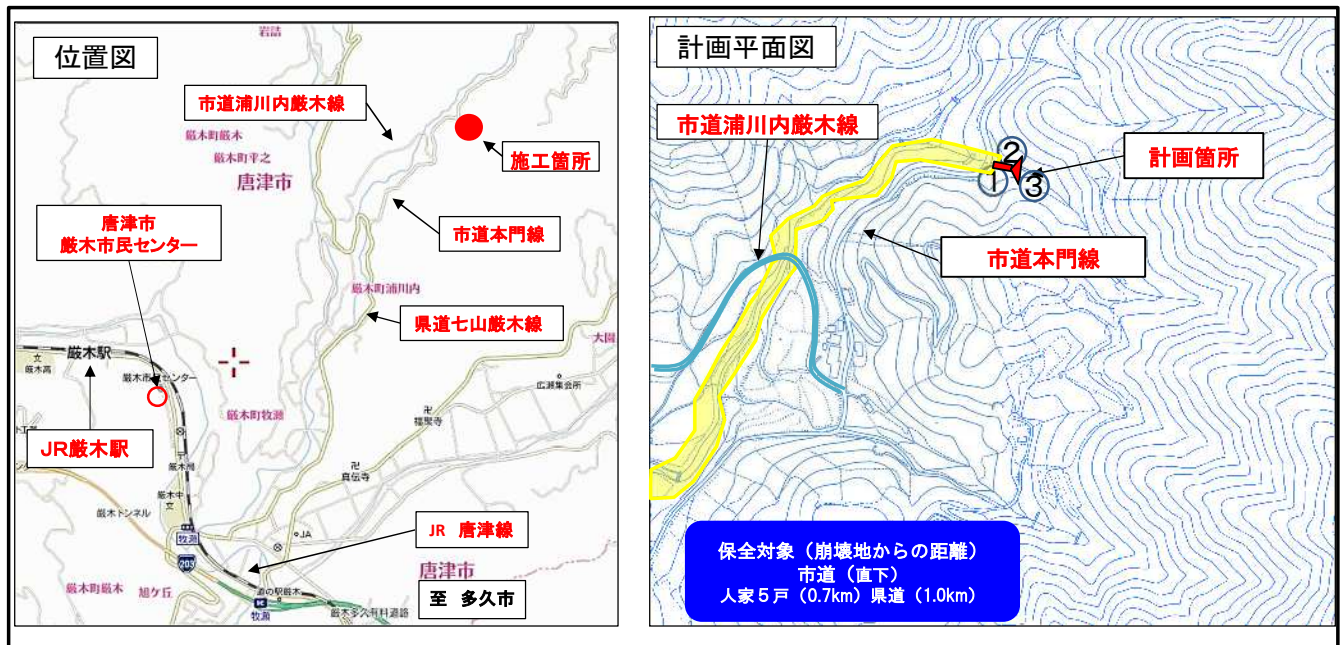
○その他

内 容
・特になし

※ 特に記述することがあれば記載。

あかにた
治山事業 赤仁田地区(唐津市厳木町浦川内地内)

施工箇所: 厳木市民センターから北東に約4.1km付近



1

あかにた
赤仁田地区(唐津市厳木町浦川内地内)

整備の必要性: 当地区は、溪流内に不安定土石が堆積している状況である。今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあるため、溪間工を施工し災害の未然防止を図る。

① 流末状況荒廃状況
(流路工計画位置)



② 治山ダム計画位置



③ 不安定土石及び倒木体積状況



【事業概要】工期: R6~8 総事業費: 54百万円
保全対象: 人家5戸、県道七山厳木線(1.0km)
整備内容: 溪間工(治山ダム工1個、流路工10m)

2

公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
		責任者	唐津農林事務所	所 長	片渕 隆昭

事業区分	生活関連 治山事業	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	59百万円 (56百万円)
		山地治山事業	おべた 尾部田地区		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
唐津市 相知町 平山上			令和6年度(国補正)		令和8年度
事業目的			事業内容		
当地区は、豪雨等により溪岸侵食が進行し、溪流内に不安定土石が堆積している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。			溪間工 治山ダム工 1 個		
評価の視点		評価内容			評価
(1)位置づけ		「さかの森林・林業ビジョン 2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（西部地区）に位置づけられている。(10) 不安定土石の堆積等があり、経年変化による災害発生の恐れがある。(30) 当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数 10 戸以上(14戸) (40)			A (80)
(2)必要性・効果		費用対効果は 10. 19 である。(60) 過去に土砂流出の災害履歴がない。(0) 溪流の溪床勾配は 10%～30%である。(30%) (10) 被害想定区域内に公共施設(県道・市道)がある。(10)			A (80)
(3)実施環境		地元からの要望がある。(60) 唐津市も事業に向け協力的であり、山地災害危険地区の地域住民への周知を確認できる。(20)			A (80)

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあつては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容
・特になし

※ 特に記述することがあれば記載。

お べ た

施工箇所:唐津市相知市民センターから南に約6.6km付近



おべた

整備の必要性:当地区は、溪流内に不安定土石が堆積している状況である。**今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れ**があるため、溪間工を施工し災害の未然防止を図る。

③ 不安定土石堆積狀況



【事業概要】工期：R6～8 総事業費：59百万円
保全対象：人家14戸、市道尾部田線(0.6km)、県道38号線(0.9km)
整備内容：溪間工(治山ダム工1個)

公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
		責任者	唐津農林事務所	所 長	片渕 隆昭

事業 区分	生活関連 治山事業	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	51百万円 (48百万円)
		山地治山事業	しらいわ 白岩地区		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
唐津市 相知町 田頭			令和6年度(国補正)		令和8年度
事業目的			事業内容		
当地区は、豪雨等により溪岸侵食が進行し、溪流内に不安定土石や倒木が堆積している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。			溪間工 治山ダム嵩上げ（スリット） 1 個		
評価の視点		評価内容			評価
(1)位置づけ		「さかの森林・林業ビジョン 2023」の「多面的機能の発揮（3）防災につながる森づくり」及び地域森林計画（西部地区）に位置づけられている。(10) 不安定土石の堆積等があり、経年変化による災害発生の恐れがある。(30) 当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数 10 戸以上(19 戸) (40)			A (80)
(2)必要性・効果		費用対効果は 19.88 である。(60) 過去に土砂流出の災害履歴がある。(H18.7月災) (10) 溪流の溪床勾配は 10%～30%(26%)である。(10) 被害想定区域内に公共施設(県道・市道)がある。(10)			A (90)
(3)実施環境		地元からの要望がある。(60) 唐津市も事業に向け協力的であり、山地災害危険地区の地域住民への周知を確認できる。(20)			A (80)

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあつては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

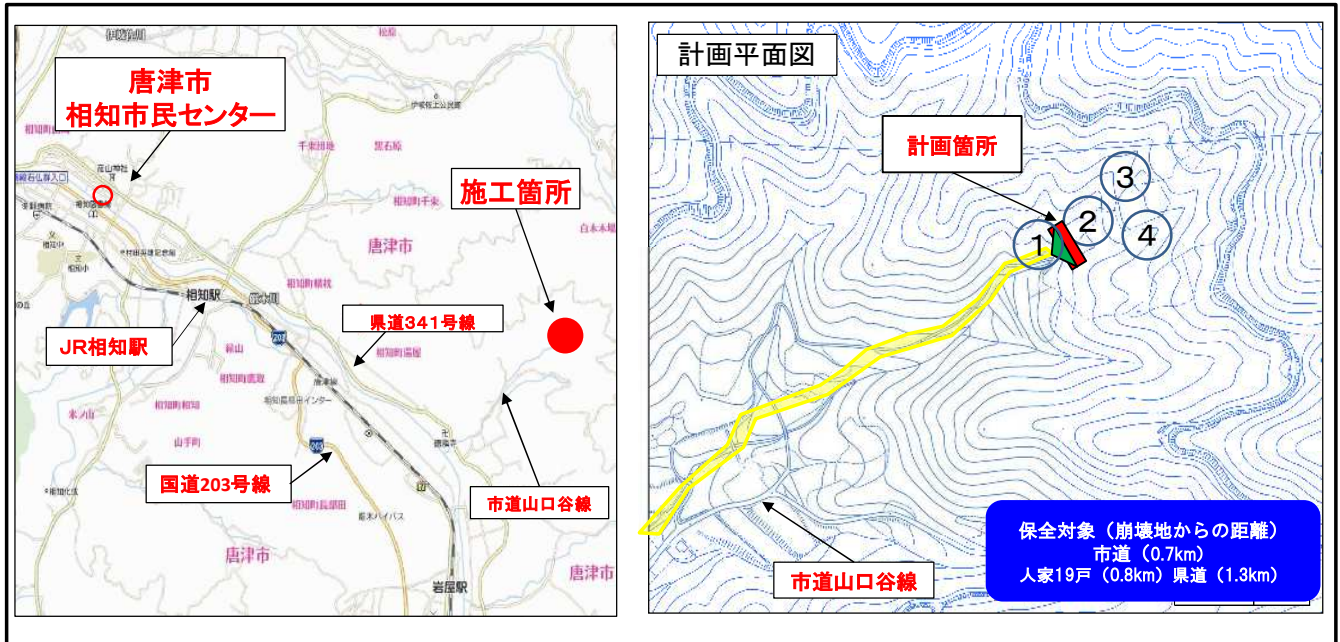
○その他

内 容
・特になし

※ 特に記述することがあれば記載。

しら いわ
治山事業 白岩地区(唐津市相知町田頭地内)

施工箇所:唐津市相知市民センターから東に約3.8km付近



1

しら いわ
白岩地区(唐津市相知町田頭地内)

整備の必要性: 当地区は、溪流内に不安定土石や倒木が堆積している状況である。
今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがあるため、溪間工の嵩上げ(スリット)を施工し災害の未然防止を図る。

①流末及び既設治山ダム状況



②治山ダム土砂堆積状況



③倒木堆積状況



④倒木堆積状況



【事業概要】工期:R6~8 総事業費:51百万円
保全対象:人家19戸、市道山口谷線(0.7km)県道341号線(1.3km)
整備内容:溪間工(治山ダム嵩上げ「スリット」1個)

2

公共事業新規評価調書（整備系）

本部名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	武田 経孝
部 名		責任者	杵藤農林事務所	所 長	吉良 孝広

事業 区分	生活関連 治山事業	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	65百万円 (61百万円)
		山地治山事業	かみおおとうげ 上大峠地区		
事業地			着工予定年度		完成予定年度
武雄市 北方町 志久			令和6年度(国補正)		令和8年度
事業目的			事業内容		
当地区は、豪雨等により溪岸及び溪床の侵食が進行している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。			溪間工 治山ダム工 1個		
評価の視点		評価内容			評価
(1) 位置づけ		「さかの森林・林業ビジョン2023」の「多面的機能の発揮(3)防災につながる森づくり」及び地域森林計画(東部地区)に位置づけられている。(10) 不安定土石の堆積等があり、経年変化による災害発生の恐れがある。(30) 当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数10戸以上(11戸)(40)			A (80)
(2) 必要性・効果		費用対効果は5.02である。(60) 過去に土砂流出の災害履歴がない。(0) 溪流の溪床勾配は10～30%(13%)である。(10) 被害想定区域内に公共施設(市道)がある。(10)			A (80)
(3) 実施環境		地元からの要望がある。(60) 武雄市も事業に向け協力的であり、山地災害危険地区の地域住民への周知を確認できる。(20)			A (80)

評価	AAA	条件等
判断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、土砂流出防止機能及び公益的機能の高度発揮が期待できるものであり、工法の決定にあたっては、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあつては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策型の建設機械を使用する。 ・リサイクル材(再生クラッシャーラン)を使用することにより、資源の有効利用を図る。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
・砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

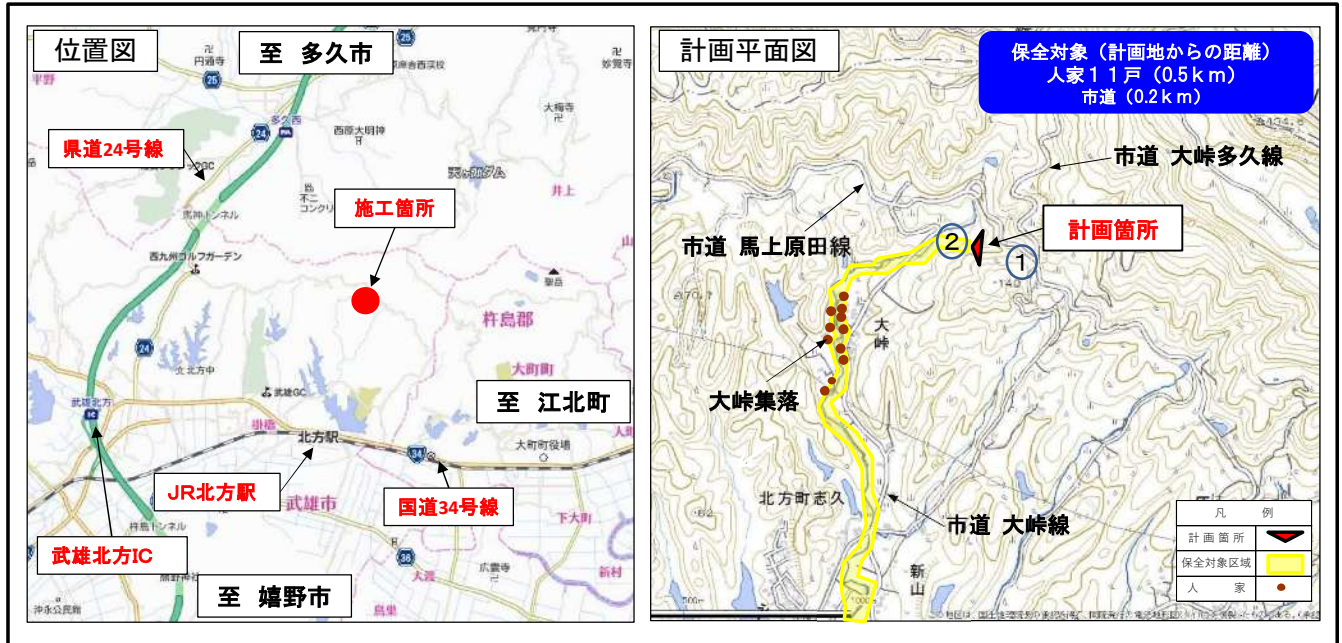
○その他

内 容
・特になし

※ 特に記述することがあれば記載。

治山事業 上大峠地区(武雄市北方町志久地内)

施工箇所:JR北方駅から北に約2.5km付近



1

かみおおうげ
上大峠地区(武雄市北方町志久地内)

整備の必要性: 当地区は、溪流の溪岸及び溪床の侵食が進行している状況であり、**今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れ**がある。このため、溪間工(治山ダム)を実施し、災害の未然防止を図る。

①溪岸及び溪床侵食状況



②治山ダム計画位置



【事業概要】工期:R6~8 総事業費:65百万円
保全対象:人家11戸、市道大峠線(0.3km)
整備内容:溪間工(治山ダム工1個)

2

新規評価箇所総括表【二次評価に至らなかったもの】

様式 2
担当課 森林整備課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2 次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
1	治山	生活関連	山地治山事業	谷口地区	鳥栖市		神辺町	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
2	治山	生活関連	山地治山事業	山中地区	基山町		宮浦	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
3	治山	生活関連	山地治山事業	上坂本地区	吉野ヶ里町		松隈	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
4	治山	生活関連	山地治山事業	深底地区	みやき町		葦原	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
5	治山	生活関連	山地治山事業	太郎丸地区	唐津市	相知町	千束	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
6	治山	生活関連	山地治山事業	藤原地区	唐津市	相知町	佐里	溪間工 鋼製治山ダム工 (更新) 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
7	治山	生活関連	山地治山事業	松原地区	唐津市	相知町	伊岐佐	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
8	治山	生活関連	山地治山事業	平野谷地区	唐津市	相知町	牟田部	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
9	治山	生活関連	山地治山事業	黒尾岳地区	伊万里市	大川内町	甲	溪間工 治山ダム工 1 個 流路工20m	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
10	治山	生活関連	山地治山事業	川原地区	伊万里市	大川町	東田代	溪間工 流路工100m	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
11	治山	生活関連	山地治山事業	立石地区	伊万里市	立花町	立石	溪間工 流路工80m	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
12	治山	生活関連	山地治山事業	広瀬牧地区	伊万里市	有田町	山谷牧	溪間工 治山ダム 補修工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
13	治山	生活関連	山地治山事業	大木牧地区	伊万里市	有田町	広瀬山	溪間工 治山ダム工 1 個 流路工80m	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。
14	治山	生活関連	山地治山事業	内野山地区	嬉野市	嬉野町	下宿	溪間工 治山ダム工 1 個	－	－	C	Ⅲ	実施環境において、C判定であるため来年度の新規事業着手を見送る。